

歩み続けて40周年。

名寄・リンゼイ 姉妹都市提携40周年
積み重ねた歴史は市民の財産です

先駆的な国際交流

日本では1955年(昭和30)に長崎市とセント・ポール市(アメリカ・ミネソタ州)の間で結ばれた姉妹都市提携が最初といわれています。

北海道内では、2009年(平成21)2月現在、73市町村が112組(19カ国)の姉妹友好都市の提携を結んでいます。

1969年(昭和44)8月1日に締結された名寄・リンゼイの姉妹都市提携は、道内におけるカナダとの都市提携では2番目、国内でも6番目という先駆的な歴史を誇っています。

現在、名寄市はリンゼイのほか、鶴岡市藤島(山形県、平成8年姉妹都市)、ドーリンスク市(ロシア・サハリン州、平成3年友好都市)、杉並区(東京都、平成元年交流協定)との間で人と人の交流を通じたまちづくりを進めています。

リンゼイの紹介

カナダ・オンタリオ州南部、五大湖の一つオンタリオ湖のすぐ北に位置していて、緯度は名寄市とほぼ同じです。

オンタリオ州は、カナダの州の中では最も人口が多く、カナダ全体の人口の3分の1が集まっている州です。カナダの政治経済の中心でカナダ最大の都市トロント、連邦政府の首都オタワも属しています。

2001年(平成13)に市町村合併によってカワサレイクス市となりましたが、中でもリンゼイ市が一番大きな街で、当時の人口は16930人、同市の経済・商業の中心地です。産業は、木材、農産物で栄えてきましたが、



姉妹都市盟約書にサインする池田幸太郎、ジョン・F・エイキンズ両市長

自動車部品、化学繊維、クレヨン製造など、新たな工業が展開しています。

名寄・リンゼイ記念事業実行委員会から

同委員会では、カワサレイクス市からリック・マツギー市長やヘザー・ニューマン提携委員会委員長夫妻をはじめとする親善訪問団が来名し、交換留学生とともに記念式典を行います。他にも姉妹都市提携40周年記念誌を発行、ホームビジットや友好親善パークゴルフなどを行いますので、市民の皆さんも参加してください。

歓迎記念式典 8月29日(土)午後6時、ホテル藤花(会費4千円、申込は8月10日まで)

友好親善パークゴルフ交流会 8月31日(月)午前9時、雨天順延、日進健康の森(訪問団をサポートしてラウンドできる方を募集します。先着15人、申込は8月10日まで)

ホームビジット 8月31日(月)午後6時、2~3人のグループに分かれた訪問団の方を夕食に招いていただける家庭を募集します。(9家庭募集、申込は8月10日まで)

申し込み・問い合わせ

市役所地域振興課

名寄庁舎3階

☎ 1654 2111

内線3312



カナダ
オンタリオ州

カワサレイクス市

カワサレイクス市のデータ

カナダ・オンタリオ州

面積：3,059.22km² 人口：74,561人

位置：北緯44度4分、西経79度2分



リンゼイ発、名寄のカーリングの源流

2006年（平成18）11月11日、市内日進のなよろ健康の森に隣接する道立サンピラーパークにサンピラー交流館がオープンしました。

同パークに向かう日進橋の上からもその姿が望める同館は、国内屈指となる5シートのカーリングリンク(写真下)が整備されています。

こけら落としを飾って開かれた第1回北海道知事杯カーリング大会には姉妹都市リンゼイの選手団が参加し第4位に輝きました。

世界で最もカーリングが盛んな国カナダ。姉妹都市提携はカーリングという新たな歴史を名寄市にもたらしてくれました。



1976年(昭和51)に名寄市訪問団がリンゼイからカーリング用具をプレゼントされたことが始まりといわれていて、1982年(昭和57)4月のカーリング協会の設立準備会は、名寄・リンゼイ姉妹都市友好委員会が主催して開かれたものでした。

1983年(昭和58)1月、南広場にカーリングリンクが造成され、名寄カーリング協会が設立されました。同年2月にはカーリング元世界チャンピオンのウォーリー・ウースリアーク氏を迎えて講習会を開催するなど、着実に歴史を重ねています。



ハウレット夫妻

1953年(昭和28)に宣教師として天塩教会(現名寄教会)に赴任したフロイド・G・ハウレットさん(当時32歳、カナダ・オンタリオ州出身)とともに来名した妻のドリーンさん。彼女の出身地がリンゼイ市でした。

1969年(昭和44)4月、名寄でも海外の都市との交流提携のための有志の会が開かれ、相手都市選びが進められていた同年5月、ハウレット夫妻がリンゼイ市を紹介したことから姉妹都市準備委員会が組織され、提携推進の活動が始まりました。

リンゼイ市との橋渡しと国際交流に大きな足跡を残して、1981年(昭和56)に帰国したハウレット夫妻には国際親善名誉市民の称号が贈られました。



リンゼイ通

浅江島公園に向かう南2丁目通りには写真上のリンゼイ通の標識が。

また、浅江島公園の一角には「NAYORO LINDSAY PARK」と刻まれた看板があります。

この看板はリンゼイ市から贈られたもので、1983年(昭和58)8月4日ジム・フリン市長ら訪問団の手によって、リンゼイ通りの開通式に合わせて除幕式が行われました。

この看板は2組製作され、リンゼイ市内の公園にも設置されています。



相互訪問の歴史

1969年(昭和44)8月1日に行われた姉妹都市の提携。その日、名寄市とリンゼイ市では同時に記念式典が行われました。

名寄市では市民会館で行われた開基70周年記念式典の席上、リンゼイ市長からのメッセージとカナダ国旗が披露され、リンゼイ市ではヴィクトリア公園で国際親善デーの集いを開催し、姉妹都市提携が市民に報告されました。(写真は1970年(昭和45)8月1日に市立図書館で行われた友好の夕べのようす)

民間団体である名寄・リンゼイ姉妹都市友好委員会が中心になった交流は、川の流れのように絶え間なく歴史を重ねて、この40年間で580人の往来(名寄から344人、リンゼイ市から236人)がありました。



交換留学生、名寄から18回30人、リンゼイ市から18回32人に

1973年(昭和48)に始まった、高校生を主体にした交換留学生のプログラム。第1号は、及川由美さん(当時名寄高校2年、7月25日~10月1日)とキャシー・ジャクソンさん(ヴェルダン高校2年、7月1日~8月26日)でした。(写真左下)

このほかにも1980年(昭和55)には名寄市開基80周年記念事業として少年ジェット28人を派遣。1982年(昭和57)から16年間に及んだ市立名寄短期大学からの学生派遣36人。1984年(昭和59)からの9年間にわたってリンゼイ市からの英語教師を招へい。1986年(昭和61)から1988年(昭和63)までの3年間は、カナダ文化体験と英語研修の旅(1月間の研修)に116人の先生・生徒がリンゼイ市を訪問。人と人との交流は相互訪問、交換留学生ばかりでなく新たな広がりを見せています。

